

平成 18 年 8 月 22 日

関係各位

東燃ゼネラル石油株式会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
代表取締役会長兼社長
ディー・ジー・ワスコム
(コード番号: 東証一部 5012)
問合せ先:
エクソンモービル有限会社
広報渉外部
Tel: 03-6713-4400

東燃ゼネラル石油(株)平成 18 年 12 月期 業績予想修正に関するお知らせ

東燃ゼネラル石油株式会社は、平成 18 年 2 月 24 日に発表した平成 18 年 12 月期(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)の連結および単体業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

1. 平成 18 年 12 月期(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)業績予想

連結業績予想：

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想(A)	31,760	210	270	160
前回発表予想(B)	30,800	400	410	250
増減額(A-B)	960	▲190	▲140	▲90
増減率(%)	3	▲48	▲34	▲36

(B)平成 18 年 2 月 24 日発表

単体業績予想：

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想(A)	31,180	▲10	590	570
前回発表予想(B)	30,300	270	520	400
増減額(A-B)	880	▲280	70	170
増減率(%)	3	▲104	13	43

(B)平成 18 年 2 月 24 日発表

2. 修正の理由

平成 18 年 12 月期の連結営業利益は、210 億円となる見込みです。1-6 月期の業績(連結営業利益 114 億円)を勘案した結果、本年 2 月に発表した前回業績予想を下回りました。業績予想を行うにあたり、以下の点を想定しています。

- (1) 7 月の原油価格急騰がマージンにマイナスの影響を与えたものの、当社はこうした上昇が続くことを想定しておりません。8 月以降の石油製品マージンは、2 月時点の前回予想とほぼ同水準となる見込みです。
- (2) 7-12 月期の石油製品の販売数量は、前回予想よりも若干の減少が予想されますが、1-6 月期に比べ増加する見込みです。
- (3) 7-12 月期の石油化学部門の収益は、前回予想を上回る見込みです。これは、オレフィンを中心に堅調な需要に支えられ、1-6 月期に引き続きマージンが前回予想を上回るという想定によるものです。
- (4) 1-6 月期の在庫評価益は、期末に向けて一部減少することを見込んでいます。

以上